

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 【特集】協働のまちがつくる観光都市——
歴史・食・自然が織りなすあじわいの郷へ
- 8 25年度 施政方針 「協働」による自立のまちを目指して
25年度 教育行政方針 未来を担う人づくり
- 10 25年度 予算のあらまし
- 14 ILC希望のひかり
- 16 0.4（オーシュウ）%支援事業に投票を
食の匠・渡邊貞子さんが農林水産大臣賞
- 17 結 - ゆい - ～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～ 「藤里振興会」
- 18 市の出来事から
- 20 まちの話題
- 22 つながれ 広がれ NPOの輪「奥州♡絆の会」
- 24 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 25 地域安全情報
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 26 キラリ人輝く
夢トーク
- 27 クラブ紹介「水沢南中学校
男子バスケットボール部」
ぽんたのつぶやき
- 28 くらしの情報
- 32 奥州遺産「懸田の桜」（衣川区）

〈今月の表紙〉



水沢区羽田町に伝わる羽田町火防祭(同実行委員会主催)が3月31日、同町元町通りで開催されました。祭りは25歳厄年連「巳雄神」による樽神輿で幕開け。42歳厄年連「耀子会」主催による防災フェスタなど、さまざまなイベントが行われました。

写真は、華やかに着飾った子どもたちによる鑄物屋台。33歳厄年連「櫻酉会」が先導する鑄物屋台は、沿道に詰めかけた観客を魅了しました。



産まれたばかりの子牛に愛情を込めて哺乳を行う

雪解けが進み、ひと足遅い春が訪れた江刺区広瀬の山間に、菅野恭子さんの自宅がある。自宅脇の畜舎で肥育牛、離れの畜舎で繁殖牛を飼養する畜産一貫経営の農家。恭子さんは、主婦業の傍ら牛の飼養管理を行っている。

沖繩に生まれ育った恭子さん。大学時代は実家から離れ、不慣れな東北で学生生活を送った。やませなどの気象条件と農業の関わりや、農業の地域性などの研究に励んだ。卒業後は、故郷の沖繩県庁に入庁。農業改良普及センターに配属され、農業改良普及員としてのスタートを切った。

普及員になって2年目、職場の先輩の勧めもあり、畜産指導の道へ。平成13年、岩手・沖繩かけはし交流による

1年間の人事交流で、水沢農業改良普及センターに配属となった。岩手の豊かな自然とそこに住む人たちの大らかな気質に、溶け込むのは時間がかからなかった。そのとき、夫の陽弘さんと出会う。恭子さんは沖繩に戻っても、2人は愛を育み続け、17年5月に結婚。奥州市民となった。

普及員時代の経験も豊富で、結婚当初から農業経営に手腕を振るい、今では帳簿管理も恭子さんの仕事。経営の一翼を担う。「農家の高齢化、後継者不足は深刻です」と地域農業の将来について不安を口にす恭子さん。「今後は、何らかの形で地域農業の手助けをしたい」と、課せられた使命を感じながら、農業への情熱を燃やし続ける。



31

家族や地域の人に支えられ 大好きな牛と触れ合う日々

菅野 恭子さん（40歳）
|| 江刺区広瀬字下西風 ||



かの・きょうこ◎昭和48年沖繩県豊見城市生まれ。家族全員が農業に携わり、肥育牛130頭、繁殖牛45頭、水田4畝の大規模経営。夫、長女、二女、義父母の6人家族。